

地下鉄海岸線に乗って兵庫津へ

往時の

西国街道を体験しよう!

西国街道VR

古来より日本の代表的な港であった兵庫津。西国街道の宿駅であり、海道と陸道を結ぶ結節点として繁栄しました。この度、初代兵庫県庁舎ナビARアプリ内のコンテンツとして、大正時代～昭和初期頃の「西国街道」のイメージを再現したVRを新しく追加しました。是非、地下鉄海岸線に乗って、兵庫津の歴史とVRを体験しに訪れてみませんか?

- AR** 「Augmented Reality」の略で「拡張現実」と呼ばれ、カメラで映した実際の映像にデジタル情報を重ね合わせる技術です。
- VR** 「Virtual Reality」の略で「仮想現実」と呼ばれコンピューターで作り出した仮想空間です。

初代兵庫県庁舎ナビ AR アプリのご紹介

初代県庁舎と北前船の往時の姿をARで再現し、現在までのエリアの変遷も楽しめる兵庫津の魅力伝えるアプリです。



※上部スマートフォンの画面はイメージです。実際の表示とは異なります。



このQRコードでダウンロードができます **無料**



神戸県民センターホームページのバナーからもダウンロードできます。



●がある場所で、ARアプリを体験できます。

お問合せ先

初代兵庫県庁舎ナビARアプリ全般に関するお問い合わせ：兵庫県神戸県民センター県民交流室 県民・産業振興課（産業振興担当）TEL:078-647-9087
西国街道VRコンテンツの内容に関するお問い合わせ：神戸市企画調整局未来都市政策課 TEL:078-322-5031

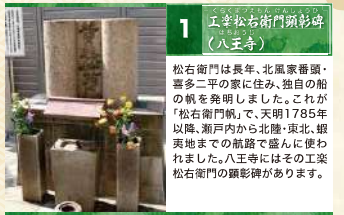


UNESCO City of Design

ひょうごのつ ウォークマップ

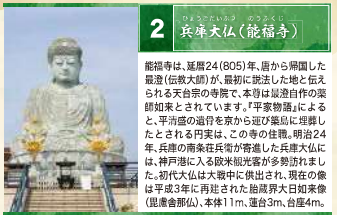
日本遺産 認定の地 兵庫津

1 工業松右衛門顕彰碑 (八王寺)



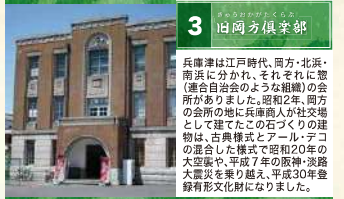
松右衛門は長年、北風家番頭・増多二平の家に住み、独自の船の帆を発明しました。これが「松右衛門帆」で、天明1785年以降、瀬戸内から北陸・東北・蝦夷地までの航路で盛んに使われました。八王寺にはその工業松右衛門の顕彰碑があります。

2 兵庫大仏(鏡福寺)



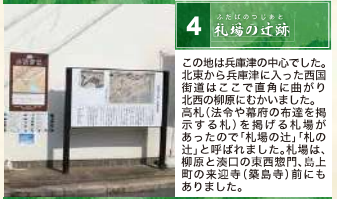
鏡福寺は、延暦24(805)年、唐から開關した最澄(伝教大師)が、最初に崇拝した地と伝えられる天台宗の寺院で、本尊は最澄自作の薬師如来とされています。「平家物語」によると、平清盛の遺骨を茶から運び薬師に埋葬したとされる内実が、この寺の由来。明治24年、兵衛の専任在任が開始された兵衛大仏には、神戸港に入る徳米船光景が多勢現れました。初代大仏は大正中に供出され、現在の像は平成3年に再建された徳島界大日如来像(徳島徳富堂仏)本体11m、蓮台3m、台座4m。

3 旧岡方倶楽部



兵庫津は江戸時代、岡方・北浜・南浜に分かれ、それぞれに惣(連合自治会のような組織)の会所がありました。昭和2年、岡方の会所の地に兵庫商人が社交場として建てたこの石つくりの建物は、古典様式とアール・デコの混合した様式で昭和20年の大空襲や、平成7年の阪神・淡路大震災を乗り越え、平成30年登録有形文化財になりました。

4 札場の辻跡



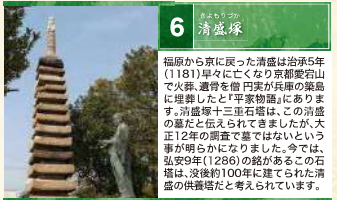
この地は兵庫津の中心でした。北東から兵庫津に入った西国街道はここで直角に曲がり北西の柳原にもがきました。店札(送金や荷物の赤通を指示する札)を掲げる札場があったので「札場の辻」「札の辻」と呼ばれました。札場は、柳原と湊川の東西横断、海上航の来迎寺(築島寺)前にもあります。

5 真光寺



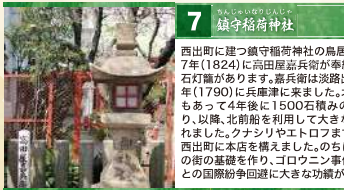
時宗の開祖、一遍上人が全国遊行の途中、兵庫津に立ち寄り、正応2年(1289)この地の観音堂で亡くなりました。信徒たちにより火葬され、遺骨は五輪塔に納められました。後醍醐天皇から「西山山」の山号を与えられ、念仏の大道場として発展しました。

6 清盛塚



福原から京に戻った清盛は治承元年(1181)早々に亡くなり京都聖徳太子で火葬、遺骨を僧円実が兵庫の築島に埋葬したと「平家物語」にあります。清盛塚十三重石塔は、この清盛の墓だと伝えられてきましたが、大正12年の調査で墓ではないという事が明らかになりました。今では、弘安9年(1286)の銘があるこの石塔は、没後約100年に建てられた清盛の供養塔だと考えられています。

7 鎮守稻荷神社



西出町に建つ鎮守稲荷神社の鳥居脇には、文政7年(1824)に高田屋嘉兵衛が奉納した一對の石灯籠があります。嘉兵衛は淡路出身で、寛政2年(1790)に兵庫津に来ました。北風家の後援もあって4年後に1500石積みの辰祝丸を造り、以降、北船船を利用して大きな富を手に入れました。クナシリやエトノロまで事業を広げ西出町に本店を構えました。のちに面影や懐きの街の基礎を作り、ゴロウヰン事件ではロシアとの国際紛争回避に大きな功績がありました。

8 松尾稲荷神社とピリケン像



大正時代アメリカから日本に伝えられたマスコット「ピリケン」です。松尾稲荷神社のピリケン像は、大正中期に作られた現存日本最古の像で、元町の食堂から大正末にこの神社に奉納されました。この像「松尾稲荷」と呼ばれ、稲荷「健康・学問の神」として親しまれてきました。

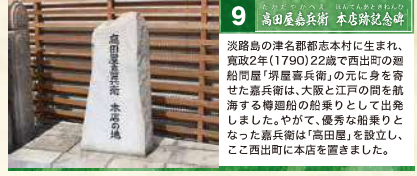


8 松尾稲荷神社とピリケン像



大正時代アメリカから日本に伝えられたマスコット「ピリケン」です。松尾稲荷神社のピリケン像は、大正中期に作られた現存日本最古の像で、元町の食堂から大正末にこの神社に奉納されました。この像「松尾稲荷」と呼ばれ、稲荷「健康・学問の神」として親しまれてきました。

9 高田屋嘉兵衛 本店跡記念碑



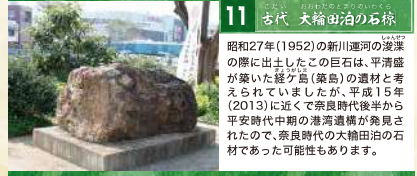
淡路島の津名郡志本村に生まれ、寛政2年(1790)22歳で西出町の廻船問屋「勇羅兵衛」の元手身を継承した嘉兵衛は、大阪と江戸の間を航海する廻船船の船長として出発しました。やがて、徳多な船乗りとなった嘉兵衛は「高田屋」を設立し、ここ西出町に本店を置きました。

10 竹尾稲荷神社



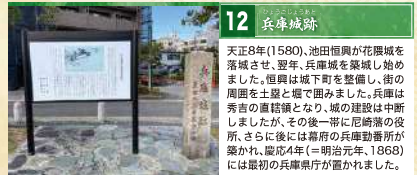
京都伏見稲荷大社の分霊を奉祀したのが始まりとされ、石灯籠に1813年(文化10)と1818年(文政元年)の銘があることから、その時期の創建だと思われる。昭和28年に設置された高田屋嘉兵衛顕彰碑があります。

11 古代 大輪田の石椁



昭和27年(1952)の新川運河の浚渫の際に出土したこの石椁は、平清盛が築いた鏡ヶ島(築島)の遺構と考えられていましたが、平成15年(2013)に近くで奈良時代後半から平安時代中期の溝溝遺構が発見されたので、奈良時代の大輪田の石材であった可能性もあります。

12 兵庫城跡



天正8年(1580)、池田恒興が花隈城を落城させ、翌年、兵庫城を築城しました。恒興は城下町を整備し、街の周囲を土壁と堀で囲みました。兵庫は秀吉の直轄領となり、城の建設は中断しましたが、その後一帯に尼崎藩の役所、さらに後に幕府の兵庫助府が築かれ、寛政4年(1793)には最初の兵庫県庁が置かれました。

